

鶏・あひるなど、家きん*を飼っている全ての方へ

鳥インフルエンザの予防対策はできていますか？

昨年度は、1月に香川県の農場で高病原性鳥インフルエンザが発生しました。中国などの近隣諸国では引き続き本病が発生しています。渡り鳥飛来の子節を迎える前に予防対策の点検をしましょう。

*家きんとは 鶏(チャボ・烏骨鶏含む)、あひる(あいがも、がちょう含む)、うずら、七面鳥、だちょう、きじ、ぼろぼろ鳥

野鳥・野生動物の侵入防止

防鳥ネット(金網)は2cm以下の網目のものを使用しましょう。侵入箇所や破損している箇所があれば修繕しましょう。



飲み水の消毒

飲み水は水道水、または消毒した水を与えましょう。消毒方法は裏面を参考にして下さい。



飼育舎出入時の手洗いと消毒

飼育舎出入口に踏込消毒槽を設置する、舎内では専用の長靴を使用するなど、ウイルスを飼育舎内に持ち込まない対策をしましょう。消毒方法は裏面を参考にして下さい。



踏込消毒槽

毎日の健康観察

飼育鳥の様子を観察し、気づいたことは記録しましょう。



元気がない、紫色のトサカなど、鳥インフルエンザの症状が疑われる場合は、直ちにかかりつけの動物病院、または家畜保健衛生所に通報してください。



↑トサカが紫色



↑うずくまる

飲み水の消毒方法

(詳細は家畜保健衛生所までお問い合わせ下さい。)

飲水消毒用の塩素剤(次亜塩素酸ナトリウム)を使いましょう。

1段階目: 塩素剤を薄めて600ppmの濃度にする。

塩素濃度(6%)のもの: 塩素剤5mLを水500mLで希釈・・・①

(薄めた塩素剤の濃度: 600ppm)

2段階目: ①(薄めた塩素剤)を飲み水に入れる。

例: 水1Lに対して①を1mL(できた飲み水の塩素濃度: 0.6ppm)

鶏舎周辺消毒方法

◆踏込消毒槽

鶏舎出入口に設置し、靴底を消毒しましょう。

消毒槽には、塩素系消毒薬、消石灰などが有効です。台所や洗濯用の塩素系漂白剤(ハイター、ブリーチ)を50倍から100倍程度に水道水で薄めて使っても効果があります。

◆鶏舎周辺・出入口

消石灰を散布しましょう。

⚠ 散布するときは、手袋、マスク、ゴーグルを着用して、皮膚・呼吸器・眼に直接付着しないように注意しましょう!

◆手指の消毒

鶏舎出入時には手指の洗浄あるいはアルコール消毒をしましょう。



国内における高病原性鳥インフルエンザの発生状況(平成29年11月以降)

